

2017年8月21日

音響放射力インパルスの安全性について

公益社団法人日本超音波医学会
理事長 工藤正俊

音響放射力インパルス（ARFI、プッシュパルスとも呼ばれる）の生体への安全性、特に胎児への安全性が医学的なコンセンサスとして確認されていない現状で、本会では胎児にARFI（プッシュパルス）を照射すべきではないものと判断する。妊娠中の子宮に対してARFI（プッシュパルス）を用いるShear Wave Elastographyでは、ROI内に胎児が含まれていないと推定されていても、さまざまな要因から胎児にARFIが照射される可能性を否定できない。今後、このような研究が本会学会誌へ投稿、学術集会へ応募された場合、安全性と倫理的な配慮について十分に審議して採否を決定する。